

テーマ

「笑顔と親睦、 つなげよう奉仕のバトンを」

会 長 笠原 徳之



1 はじめに（基本理念）

2026-27年度のオンラインカ・H・ババロラR I会長は、「CREATE LASTING IMPACT（持続可能なインパクトを生み出そう）」というテーマを掲げました。ロータリーの活動において、単なる一時的な変化で終わらせるのではなく、地域社会に永続的な成果（インパクト）をもたらすことが重要であると呼びかけています。さらに、ロータリーは「私たち自身をも変える」存在であり、新しい仲間を温かく迎え入れる環境づくりの大切さも強調しています。

また、第2570地区の原島生慈ガバナーは、「ロータリー活動に誇りを！」という力強い地区活動テーマを掲げています。クラブの奉仕活動をブランド化して自信を持って語れるようにすること、活動の結果を数字だけで終わらせず「これだけの笑顔を作った」というストーリーを可視化すること、そして「最高の仲間と、選ばれた誇りを分かち合う」クラブづくりを求めています。

今年度の東松山むさしロータリークラブでは、これらR I会長とガバナーの力強いメッセージをしっかりと受け止め、当クラブの礎を築いてくださった親クラブやチャーターメンバーをはじめとする先人たちの良き伝統（バトン）を未来へと受け継ぎます。その実現のため、今年度は以下の3つの柱に沿って、「誇り」と「笑顔」の溢れるクラブ運営を進めてまいります。

2 活動方針（3つの柱）

(1) 次世代に引き継ぐ（誇れる奉仕のバトン）

親クラブや先輩方が築いた尊い奉仕の精神を受け止め、未来へ引き継ぎます。地区が重点課題とする「子どもの貧困」問題への向き合いや青少年支援をはじめ、次世代の未来を支える活動を通じ、会員誰もが自信を持って語れる「誇りある奉仕（プロジェクトのブランド化）」を実践し、持続可能なインパクトを次世代へ引き継ぎます。

(2) 笑顔で奉仕・楽しく親睦（メリハリある例会と、笑顔のストーリーの可視化）

ロータリーの基盤は会員同士の絆だと思います。会員の皆様が毎週気持ちよく集えるよう、例会における開会・閉会時間の厳守を徹底し、メリハリのある質の高いクラブ運営を行います。楽しく親睦を深めて温かい環境を作り、その力でポリオ根絶活動や財団支援など、笑顔の奉仕に取り組みます。単なる数字や実績で終わらせず、「これだけの笑顔を作った」というストーリーを可視化し、奉仕と親睦を通じた充実感と自己成長を目指します。

(3) 明るく増員（最高の仲間と誇りを分かち合う）

クラブを持続的に発展させていくためには、新しい仲間が不可欠です。地区目標である「会員数純増2名以上」の達成を目指すとともに、単に数を追うだけでなく「最高の仲間と、選ばれた誇りを分かち合う」ことができる、多様な背景を持つ人々や若い世代が歓迎される、オープンで魅力的なクラブづくりを推進します。

3 最後に

会長として至らないことが多くあるものと存じますが、理事・役員の皆様、そして会員の皆様の多大なるご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

今年度も「笑顔あふれるロータリー活動」にご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

